2 新病院の基本方針と「目指す姿」…以下の５つの基本方針に基づき常に医療の向上に努めます

1 高度・専門医療の提供

→健全経営に基づきハイレベルな医療を安全安心に提供します。

- 高度・専門医療の提供体制、臨床研修プログラムの充実
- ＩＣＵ等の高機能病床の確保、全身麻酔手術症例の増加
- 高度医療を支える医療機器の整備　等

■船橋市立医療センターＨＰより

■魚沼基幹病院ＨＰより

2 二次救急医療体制の充実

→「断らない救急」を目指して提供体制を強化します。

- 救急入院の受入専用病床の確保、二次救急の断らない受入れ体制整備
- 将来的に三次救急機関への転換可能なスペースの確保　等

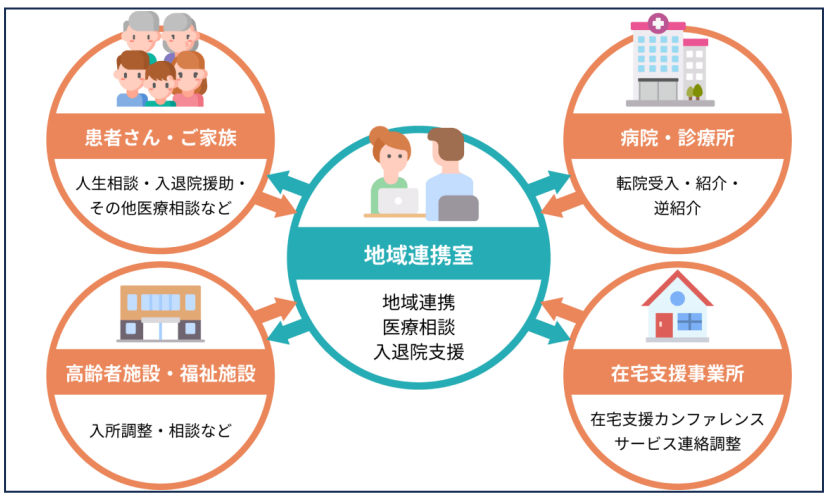
■島田市立病院ＨＰより

■済生会横浜市南部病院ＨＰより

3 地域医療連携の推進

→機能分化と連携強化により地域完結型医療を推進します。

- 富士医療圏域内の医療需要をカバーできる域内病院・診療所との密接な連携体制（急性期を脱した患者の転院等）の構築
- 圏域外へ流出傾向の高い診療科医師数の増員　等



■仙台市立病院ＨＰより

富士市立中央病院

紹介　転院

紹介　転院

共立蒲原病院

地域の民間病院・診療所

4 災害医療体制の整備

→大規模災害時、新興感染症拡大時に備えて医療体制を整備します。

- 災害発生時の重症患者の受入拠点としての確実な役割確立
- ハード・ソフト両面における安全対策・感染対策の確立　等

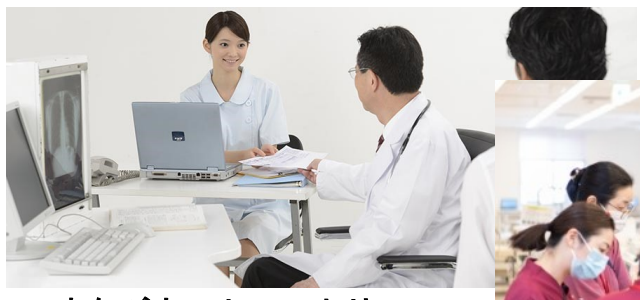
■日赤医療センターＨＰより

■伊那中央病院ＨＰより

5 次世代の医療を担う人材育成

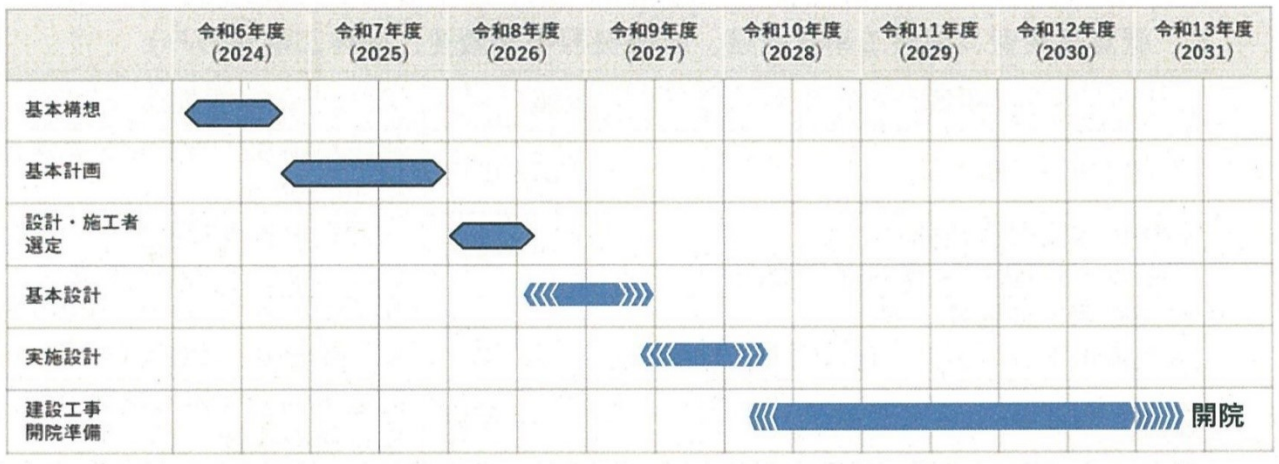
→働きやすい職場環境を整備し、優れた医療人を育成します。

- タスクシフトの推進や医師事務作業補助などの医療支援人材の確保
- 院内・夜間保育や病児保育導入の検討等、職員が働きやすい施設環境の整備　等



■まなびネットＨＰより

■魚沼基幹病院ＨＰより

3 整備スケジュール…令和 13（2031）年度内の開院を目標に計画、設計、工事を進めていく予定です

- 新病病院は、令和 13 年度の開院を目標とします。
- 早期開院を果たすために、最も設計・工事期間の短縮が可能であり、コストの側面において、基本設計の段階から工事施工者の技術力を活かすことで有効なコスト縮減が期待できる「基本設計（デザインビルド）ＤＢ方式」を採用します。
- 新病院の概算総事業費は、現段階では 500 億円弱を想定していますが、今後基本計画・基本設計の各段階で更に詰めた検討が必要です。